

# 令和2年度 自己評価・学校関係者評価

令和3年3月31日

新富町こども園

## 1 教育目標

いきいきとやる気を持って遊ぶことができ 自立心のある子どもに育てる

## 2 めざす子どもの姿 ～生きる力の基礎を培う～

- 1、明るく健康な子
- 2、自立心があり、周りの人のことをよく理解できる子
- 3、身の回りの事物に関心を持つ子
- 4、言葉をよく理解し、上手に使える子
- 5、積極的に表現のできる子

## 3 重点目標

やってみよう おもしろいな  
意欲をはぐくむ環境作り～安心して遊びこめる環境作りを目指す～

## 4 評価項目の達成及び取組状況

よい <sup>努力したい</sup>  
A-B-C-D

評価項目	結果	理由	関係者評価
①子どもとの信頼関係	B	令和元年度、引継ぎ保育に参加していた職員を各学年に配置。しかし2/3の職員は子どもの顔も名前も知らない状況でのスタートだった。幼児は4月中、名札をつけてもらい、一日も早く顔や名前を把握できるように努めた。コロナの影響で5月末までの登園自粛期間もあり、6月より本格始動。職員がクラスを問わず、どの子にも声掛けをするように配慮し、少しずつ関係を構築してきた。	B
②保育の計画性	C	継続した遊びの充実を図るため、日々の保育が途切れ途切れにならないように配慮しながら、計画を立てて進めてきた。豊かな経験を通して、遊びにじっくり取り組む中で、試行錯誤や探究心を大切に培っていきたいと思う。行事については、これまでの記録を参考にしつつ、経験のある職員を中心に子どもたちの姿に合わせて計画を立案。「余裕をもって早めに計画を」と動き出すものの、やはり直前に慌ててしまうことも多かった。 英語や体操等、新たに取り入れたことも多く、子どもたちは興味を持って臨むことができた。反面、他の遊びの時間とのバランスをとることが難しく、戸惑いを見せる子もいた。今後、保育の組み立て方、遊びの進め方など、工夫が必要だと考える。	B

<p>③保育のあり方 子どもへの対応</p>	<p><b>B</b></p>	<p>個々の育ちや問題を各クラスで話し合い、一人一人の育ちを支えるために配慮をしている。必要事項については月々の職員会議等で他学年の職員に伝達するようにしてきた。しかし、全職員への周知できていないこともあった。</p> <p>言葉遣いや子どもへの接し方など、職員会議で何度も伝えながら、職員への指導をしてきた。</p> <p>学園内異動者が9名。それ以外は新卒者や他園経験者という中で、それぞれの保育観があるため、共通理解をして対応していく上で報告や相談の重要性を改めて感じた。担任だけでなく、多くの職員の様々な視点から観察し、子どもを知るようにしていきたい。</p>	<p><b>B</b></p>
<p>④教師としての資質能力、適性など</p>	<p><b>B</b></p>	<p>職員会議や職員研修を通じ、職員の共通理解を図り、教師としての資質を身につけていけるように努力している。様々な経験を持つ職員が集まり、形成されているため、保育観の相違を感じる場面もあり、今後さらなる意見交換が必要だと思う。</p> <p>子どもへの愛情を持った接し方、誰ともにこやかに挨拶を交わすこと等々、保育者、社会人としてきちんとした振る舞いができるようこれからも意識していきたい。</p>	<p><b>B</b></p>
<p>⑤保護者への対応</p>	<p><b>C</b></p>	<p>公立から私立に移行し、保育方針等をきちんとお話してスタートをするべきところ、コロナの影響で機会を設けることができなかった。また日々の中では、連絡が行き届いていなかったり、対応の遅れがあったり等、保護者の皆様には、不安が大きかったのではと思う。</p> <p>安心してお子さんをお預けいただけるよう努力していきたい。</p> <p>公立として行ってきたことを土台にしつつ、子どもたちにとってより良い環境を整えたいという思いから、保護者をお願いすることも多々あったが、ご理解をいただき、協力いただけたことに感謝している。</p> <p>不安や疑問を感じ、お話しいただける方もいらっしゃるが、遠慮されている方もおられることを念頭に置き、細やかな配慮をしていきたい。</p>	<p><b>B</b></p>
<p>⑥地域の自然や地域とのかかわり</p>	<p><b>C</b></p>	<p>街中にありながら、公園も多数あり、どんぐりを拾ったり、広々としたところで凧揚げをしたりと、園外に出かけて楽しむことができた。また幼児は、なかはら幼稚園の園バスを借り、園外保育に出かけたり、畑でじゃがいもや大根の収穫をしたりと、土に触れる経験もでき、貴重な体験となったと思う。</p> <p>しかし、コロナの影響もあり、地域とのかかわりはほとんど持つことができず、これまで行ってきた「お話の会」の開催もできなかった。コロナの終息の折には、またぜひお願いしたいと思う。避難訓練で番町小学校を訪れた際、校内を探検させてもらったり、西部生涯学習センターに作品を展示させてもらったりすることができ、ありがたく思う。</p>	<p><b>B</b></p>

⑦研修と研究	C	<p>外部研修についてはオンライン研修等、いくつか受講できたものの、コロナの影響で、予定されていた多くの研修会が中止となり、職員の学びの場を確保することが難しかった。感染症に対する勉強会を行う等、対策の徹底を図るようにした。</p> <p>3学期には、園内研修として、保育を見合う時間を設けた。客観的に他の保育者の保育を見ることで気づくことも多く、勉強になったと思う。引き続き、時間を設けていきたい。</p>	B
⑧アンケート	B	<p>今年度は、運動会を全学年参加とした。当日の様子は、様々だったものの、特に乳児組からは、みんなで参加することができて良かったという声が聞かれた。また、お子さんの姿はもちろんのこと、他学年の発表を見ることで「来年の姿を想像した」や「改めて成長を感じた」等の声もいただき、園全体で取り組めたことを嬉しく思う。</p> <p>一方、生活発表会は、室内に人が集まるため、学年ごとの入れ替え制としたり、乳児組の親子で遊ぼう会も参加者を1名に限定したりして実施。</p> <p>感染症が心配される中、対策を取りながら、実施できたことを喜んでいただけた。</p> <p>未就園児対象の催しものについては、コロナ感染防止のため、当初の計画を変更し、園庭開放とした。</p>	B

## 5 本年度の重点課題の総合的な評価結果

<p>静岡市からの移管を受け、初年度の一年。職員ががらりと変わる中、子どもたちが安心して毎日を過ごすことを第一に考えて生活をしてきた。新園舎建設の遅れにより、仮園舎で5ヶ月を過ごすこととなったが、結果からすると、子どもたちは生活し慣れた場所で今年度をスタートすることができ、良かったと思う。8月に新園舎へ引越しをしたが、保育者たちとの信頼関係ができていたため、予想していたよりもスムーズに慣れていくことができたと思う。一人ひとりとのかかわりを大切に、安心して過ごせ、それぞれが自己発揮できるように子どもたちの成長を支えていきたい。</p> <p>また子どもたちの主体的な思いに寄り添い、遊びのつながりを大切にして保育を進めてきたが、時間の使い方や保育の進め方等、まだまだ工夫を要する。教育的な取り組みも大切にしつつ、それぞれがのびのびと夢中になって遊ぶ時間をきちんと確保し、友だちと試行錯誤しながら、自分たちで遊びを発展させていく楽しみをもっと感じられるようにしていきたい。</p>
---

課題	具体的な取り組み方法
指導計画の編成	<p>子どもたちに様々な経験をさせたいという願いから、英語や体操、野菜の収穫等、新たに取り入れたことも多く、子どもたちにとって良い刺激になっていると思う。しかし、行事に集中しすぎて遊びの時間が十分に確保できなかったり、遊びが途切れ途切れになったりと課題は大きい。主体的に取り組む力が求められる今、大切にすべきことを考え、バランスのとれた保育を目指していきたい。また縦割りのかかわりをもっと積極的に取り入れていきたい。</p>

職員の共通理解	全職員の教育・保育観、保育に対する姿勢、行事に対する具体的なイメージの統一を図っていきたい。園内研修として、保育を見合う場を設け、意見をもらったり、他クラスの工夫を自分の保育にも取り入れたり、より良い保育を目指していく。
保護者との連携	園での子どもたちの様子を玄関の掲示、月々のお便りやホームページで発信している。しかし日々の中ではなかなか保護者それぞれとの時間を作ることができず、様子がわからないという声も聞かれる。コロナの影響もあり、保育参加会の中止や送迎時の保育室への入室をお断りする等、子どもたちの普段の様子を見ていただく機会がなかったため、もっと園側からお子さんの様子をお伝えし、園と家庭とが手を取り合っって子どもたちの成長を支えていけるようにしたい。
地域との交流	まだコロナの終息には至らず、直接的な交流は難しいと思われるが、少しでも地域の方々とつながりを持っていけたらと思う。田町こども園さんにも「落ち着いたらぜひ交流を」とのお話もいただき、ぜひ実施できたらと思う。姉妹園のなかはら幼稚園との交流も今後計画していけたらと考えている。

評議委員からのコメント	静岡市より移管を受け、初年度の年。職員の大幅な入れ替わりや新園舎への引越し等、大きい変化のあった1年だが、保育者と子どもたちと良好な信頼関係を築き、安心して園生活を送れている。引継ぎ時にあった事項もきちんと実践されている。先生たちの努力はよくわかるし、子どもも元気に楽しんでいる様子もよくわかる。Aに近いBもたくさんあるが、Cは無くてもよい。これからが大事な時。この1年を土台に新たな新富町こども園として成長していけるように期待している。
-------------	---